

第6回大田区文化芸術推進協議会(10月28日開催) 意見整理シート

整理番号	該当箇所	発言内容	事務局の対応状況
1	全体	第1章から第3章までの内容を見ると、「福祉」の要素が感じにくい。	全編にわたって「文化芸術基本法」だけでなく、「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」も踏まえて本計画を作っている。福祉的な要素を特別に扱うのではなく、年齢や障がいの有無、経済的な状況にかかわらず誰もが等しく文化芸術を創造し、享受する権利があると捉えている。
2		全体を通して、この計画が対象とする「大田区民」が描かれていない印象を受ける。大田区内で「暮らし、働き、学ぶ人」が今回の計画の対象ではないか。	大田区の文化芸術の担い手は住んでいる方はもちろんだが、区外在住で区内で活動している方、就業している方も含むと認識しているため、記載を改める。
3	特色ある地域性	「異なるバックグラウンドを持つ区民が共生しています。」とあるが、「共生」という言葉を「ともに暮らしている」「ともに生きている」とした方がいいのではないか。	「共に暮らしている」「共に生きている」という記載に変更する。
4	多種多様な文化資源と文化施設	副会長が言うように、区内で活動する人も計画の対象となるのではないか。大田区に住民登録がない人も大田区を盛り上げているのではないか。	整理番号2のとおり改める。
5		地図のどこかに「大森貝塚」を入れてほしい。	検討する。
6		文化施設について、区立施設だけでなく民間施設も含めていいのでは。	区内には民間文化施設が多数あるため、「区内には区立文化施設のほかに、アーティストのアトリエや文化芸術を鑑賞したり体験したりできる民間のギャラリーなどがある」という文言を追加する。
7		区民ホール・アプリコの紹介文の中に「音響や映像設備が優れている」という文言を追加してほしい。	追加する。
8		区の文化芸	「2 文化芸術の鑑賞実態」のなかで、「何等かの理由」「学業

	術活動の現状と課題	等」との表記があるが、「何らかの」「学業など」といった表記の方がわかりやすいと思う。	
9	めざすまちの将来像	「異なるバックグラウンドを持つ人同士が出会い」とあるが、素案に記載のある事業の例示に外国の文化芸術に触れる事業が少ないと感じる。	外国の文化芸術に触れられる事業例を施策4に追加する。
10	計画の施策体系	「8年後のまちの将来像として掲げる」について、具体的に8年後である「令和15(2033)年」を明記した方がいいのではないか。	明記する。
11	施策1～4	施策ごとに「めざす姿」が書いてあるが、別のページでまとめて記載してもいいと思う。 「めざす姿」は将来のことを言っているが、事業例は過去のものになっている印象を受ける。	施策ごとに「めざす姿」を記載することで、各施策で何をめざすのか区民に伝わるようにしている。事業例は既に実施している事業のため過去の印象を受けるかもしれないが、「3 施策と事業例の見方」で示しているとおり事業の例として記載している。新しい事業があればそれも対象として考えている。
12	施策1●新たな取組例	「新たな取組例」について唐突感がある。なぜこの取り組みを推進していくのか、背景が示されるとわかりやすい。	「新たな取組例」を検討するに至った背景となるアンケート調査結果を記載する。また見出しを再考する。
13		「新たな取組例」に出てくる「文化センターを拠点とした文化芸術活動」の定義があいまいに感じる。表現を工夫した方がいい。	
14	施策2	施策2のめざす姿「文化資源を通じて地域に魅力を感じ、この地に住むことに誇りをもっています」とあるが、「この地に住む」ではなく、「活動する」など住むだけではない表現に書き換えるといいのではないか。	施策2で対象としている内容を踏まえ、「この地に住む」という表現が適当だと考えている。
15	施策2コラム	コラム1について、一般論ではなく大田区らしさを出した方がいい。学芸員になりたい人への紹介にならないように工夫が必要。	一般論にならないよう、学芸員業務のなかでも区民から見えにくい「調査研究」に絞ってコラムの内容を再考する。

16		コラムが施策2のどの事業を補完しようとしているのかわかりにくい。コラムがある意味を定義するといいい。 内容についても、記念館には学芸員が●人いて、日々どのようなことをしているかわかると大田区らしさが出る。また、レプリカ展示について、どういう意図でこのような展示をしているのか意図を書くと大田区のやり方が出て、読み手に伝わりやすい。	コラムで伝えたい内容を整理し、見出しを再考する。
17	施策2-2	事業例の中に、御会式やお祭りなどの行事をぶら下げてもいいのではないか。	イラストや写真で補完する。
18	施策3●新たな取組例	「新たな取組例」の【つなぐ人材の育成】について読んでいくと、「人材の育成」と「相談業務」が整理しきれていないように感じる。「相談業務」を充実させるために「人材の育成」が必要ということではないか。	論点を整理し、協会が行う「コーディネート機能」と区民がコーディネーターとなるための「人材育成」の2点でまとめる。
19	施策3-2	文化芸術の担い手(企画・運営できる人)たちのマッチングアプリがあるといい。	今後の課題とする。
20		事業をやりたいときに、どこにアクセスしたらいいかわからない。わかりやすくなるといい。	整理番号18のとおり整理する。
21		埋もれている文化資源を発掘するには、各地域にコーディネーターが必要。区内にはまだ知られていない文化資源がある。	整理番号18のとおり整理する。
22		区民目線で事業の発信をしてほしい。	施策3で取り組む。
23	新たな取組例 コラム全般	26 ページに施策1の「新たな取組例」として2点記載があるが、なぜこの取り組みを書いているのかわからない。現状の課題を書いてから書くといい。 ほかの委員と同様、コラムは一般論ではなく大田区独自の切り口で書いてほしい。31 ページのコラムも唐突感があるので、なぜこの2つのコラムを用意したのか前振りも必要だ	整理番号13・15・18のとおり、書き方を修正する。

		<p>と思う。</p> <p>35 ページに施策3の「新たな取組例」【つなぐ人材の育成】の記載があるが、「アートマネジメント研修」に限定しなくてもいいのではないか。</p> <p>収集した情報を編集して提供するのがコーディネートする人の役割。プロだけでなく地域でアマチュア活動をしている人も含めて情報がわかるといい。</p> <p>他自治体では、区民や市民が学芸員から講座を受けて市民学芸員となり、講演会などのやり方を学んだうえで、区民や市民に還元している例がある。「つなぐ人材」について、もう少し丁寧な説明が必要だと思う。</p>	
24	施策4	<p>施策4「各分野で複雑化する社会課題の解決に向けて」とあるが、文化芸術を活用して解決することまでは難しいのではないか。「各分野で複雑化する社会課題に新しいアプローチや視点を提供すべく」といった表現の方がいいのではないかと思う。</p>	<p>施策4の文章を「各分野で複雑化する社会課題解決へのアプローチとして」に修正する。</p>
25	推進体制	<p>「文化権」は初出か。初出であれば、何を指すか定義(説明)するといい。</p> <p>区と協会の位置づけを明確にした方がいい。区民の役割があると義務に感じる。区民や芸術家は役割というよりも一緒にやっていく感じがあるといい。区と協会は役割でいいと思うが、区民は「区民のかかわり方」「区民への期待」がいいのでは。</p> <p>区と協会のかかわりがわかりにくい。協会は「区が出資して創設された」と記載した方がいいのではないか。</p>	<p>区民に伝わりやすいように、文化権の考え方をかみ砕いて第3章の「めざすまちの将来像」で明記する。</p> <p>推進体制で、区と協会の位置づけを明確になるよう修正する。</p> <p>役割という表現は避け、担い手という表現にする。</p>
26		<p>区民・団体・協会のかかわりがわかりにくい。</p>	<p>それぞれ文化芸術の担い手として期待することを明確にし、記載する。</p>

27		<p>推進体制はとても大事。区だからできることをきちんと書いた方がいい。区民や団体がやりたいことがあったときに、どこにアクセスしたらいいのかわからない。わかりやすくまとまっているといい。</p> <p>文化芸術の企画や運営は専門性が必要だから、知識がある人がコーディネートする必要がある。</p> <p>区民には「こども」も含まれる。</p>	<p>推進体制の区の部分を修正する。</p>
28		<p>区民の役割がしっくりこない。区民は主役と書いてあるのに何か役割を担わないといけないのか。</p>	<p>整理番号26のとおり修正する。</p>
29		<p>「文化権」が41ページで初出ということに違和感がある。20ページの「めざすまちの将来像」で文化権を明記してはどうか。</p> <p>区民の役割について、まったく役割がないというもの問題だから、きちんと書くことは重要だ。「区民の役割」ではなく「区民のかかわり」がふさわしいと思う。文化芸術をやる義務はないが、文化芸術を創造し享受する権利はある。区民は大きな役割を果たしうる大事な存在だと伝えることが大切だ。</p>	<p>区民に伝わりやすいように、文化権の考え方をかみ砕いて「めざすまちの将来像」で明記する。</p>
30		<p>区はどこまでやるのか。推進体制の図を書いてみてはどうか。</p> <p>推進体制の中で、区民を最初に記載することで、見え方が変わる。</p> <p>42ページで区と協会の役割を明確にできないか。区ではできないが、外郭団体であればできることもある。</p>	<p>文化芸術の担い手はそれぞれ立場が違っており負うべき責任が違うため、それがわかるような推進体制の図を描いてみた。</p> <p>整理番号26のとおり区と協会の役割を明確にする。</p>
31	推進体制 進行管理	<p>推進体制と計画が対象とする区民の範囲は、区別して考えた方がいい。</p> <p>PDCA サイクルも大田区バージョンにした方がいい。</p>	<p>改める。</p>
32	進行管理	<p>現行プランと違って指標による評価を前面に出さないの</p>	<p>どのように施策の進行管理をしていくのか、具体的に</p>

	<p>あれば、毎年度振り返り検証(事業参加者へのアンケートや参加型評価)を行っていくことを書いた方がいい。参加型評価とは何か、わかるように解説した方がいい。</p>	<p>修正する。 参加型評価については用語解説をする。</p>
33	<p>PDCA サイクルの「PLAN」について、初年度は区の計画の策定となるが、次年度以降はそれぞれの事業が「PLAN」に位置づけられる。中間見直しで区民アンケートを実施することを図からもわかるように示すといい。毎年度やることと中間見直しでやることをビジュアルでしっかりと書くといい。令和 11 年度の区民アンケートがとても重要なことなので、もう少し強調してもいいのではないか。</p>	<p>進行管理について修正する。また整理番号31のとおりPDCA サイクルも修正する。</p>